

## Voice

## 1冊の本が国際協力の扉を開いた

農業分野で国際協力を携わりたいと思ったきっかけは、大学時代に『なぜ世界の半分が飢えるのか 食糧危機の構造』（スーザン・ジョージ著／朝日新聞出版）という本に出合ったことでした。大学院ではケニアの食料安全保障について研究し、修了後は「現地を知る必要がある」との思いから青年海外協力隊に参加しました。私が赴任したのはタンザニアです。現地の地域開発担当者を育成する学校に講師として配属されました。教える内容はプロジェクトマネジメントや統計、社会調査など、大学院で学んだ内容とは異なるものばかりでしたが、自分自身の知見も広がる良い経験になりました。

その後は、ボランティア調整員を経て英国に留学。ザンビアの食料自給率を上げるための政策を計量経済学の観点から研究した後、NTCインターナショナルに入社しました。

星 誠さん

企画営業本部、営業部、主任技師



# NTCインターナショナル株式会社

設立：2008年  
 資本金：6,000万円  
 従業員：73人(2020年7月現在)  
 本社：東京都江東区  
 事業分野：地域開発・コミュニティ開発、農村開発、水資源・灌漑開発、平和構築・復興支援、行政組織強化、人材育成(研修)  
 募集職種：最新の採用情報はHPを確認してください。  
 募集人数：若干名  
 住所：〒136-0071 東京都江東区亀戸1-42-20 住友不動産亀戸ビル12F  
 TEL：03-6892-3401  
 MAIL：ntci@ntc-i.co.jp  
 HP：http://www.ntc-i.co.jp



キャベツ畑でのフィールドワーク (スーダン国)

## Work

## ICTでアフリカの農業を変えたい

入社後は、主にアフリカで農業分野の開発コンサルティングに携わっています。4年ほど前から、コートジボワールの金融機関と共に、現地の稲作農家に対して資材購入に必要な資金の融資を行う制度を創設しました。契約を履行するという経験が少ない農家に返済の仕組みを理解してもらうのに一苦労しましたが、農家の資材調達をゼロから構築するのはとてもやりがいがあり、達成感を覚えました。現在は、現地の金融機関が主体的に資材購入についての融資事業を運営しています。

今後、アフリカの農業分野ではICT化がますます進むと予想されます。農家とパイヤーをアプリでつなぐなど、新たな流通の仕組みの構築にも貢献したいですね。

開発コンサルタントを目指す人には、何より語学力を磨くことをすすめます。もし進路に迷っているなら、まずは飛び込んでみてください。現場を知ること初めて見えてくることも多いです。



精米業者の帳簿確認の様子

業界初の「平和構築部」創設

「技術と信頼を通じ、持続可能な開発に貢献する」をモットーに掲げるNTCインターナショナル。地域開発・コミュニティ開発、農村開発、水資源・灌漑開発、平和構築・復興支援、行政組織強化、人材育成(研修)の6分野で、アフリカ地域をはじめ世界各地を対象にコンサルティング事業を展開する。なかでも、農業セクターの開発支援事業における歴史は長い。また、農村開発の知見を活かした平和構築分野における評価も高い。2013年に開発業界初となる「平和構築部」を創設し、コンゴ民主共和国やウガンダ北部などの紛争影響国で実績を重ねてきた。現場でのプロジェクト実施だけでなく、現地人材の日本での研修事業も行っている。最適解を提供するプロフェッショナル集団として世界に認められる成果創出を目指す。

国境を超えてSDGsに貢献

同社では、「人材は企業の最重要資源である」という考えの下、社員の採用や育成に戦略的に取り組んでいる。新卒採用は技術系、修士号以上の学位保有者が望ましい。中途採用の場合は、TOEIC750点相当以上の英語力に加えて、海外での活動経験が求められる。学歴や語学力の他、飽くなき探究心や変化を恐れず挑戦する姿勢、成果を上げる上で不可欠な協調性・コミュニケーション能力なども重視している。グローバル化が加速するなか、今後は先進国が途上国を支援するのではなく、双方が知恵を絞りながら持続可能な開発目標(SDGs)の達成を目指すことが求められる。「国内外で重ねた実績を大事にしつつ、変化を恐れず果敢に未来を切り開いていく業界の旗手でありたい」と話す。

NTCインターナショナル入社

英国レディング大学大学院 農業開発経済学 研究科 修了

国際協力機構(JICA) ザンビア事務所 ボランティア調整員

青年海外協力隊(タンザニア/村落開発普及員)に参加

獨協大学大学院 経済学研究科 卒業

京都産業大学理学部 卒業